

令和3年度 北海道集落実態調査の実施について（案）

1 調査概要

目的	集落対策の取組を主体的に進めようとする市町村に対し、道が効果的・効率的な対策を展開していけるよう、市町村における集落対策に対する取組姿勢や取組状況を把握するとともに、集落の生活関連施設の状況について調査。
周期	隔年（必要に応じて追加調査を実施）
対象	全ての市町村
集落数	3,632（令和元年度調査） ※札幌市、小樽市、室蘭市を除く176市町村が「集落あり」と回答。

2 これまでの主な調査項目

主な調査項目
<ul style="list-style-type: none"> ○集落の人口と高齢化率 ⇒集落ごとの人口規模、高齢化率、年齢構成、転入者の状況 等 ○市町村における集落対策の状況 ⇒現在の実施状況と取組内容、集落対策に関する満足度 等 ○今後の集落対策 ⇒今後必要と考えられる施策、取り組みたい施策 等 ○集落を支えていく人材の活用状況 ⇒地域おこし協力隊、集落支援員、地域担当職員制度 等 ○集落における生活関連施設の状況 ⇒①郵便局、金融機関、薬局、ガソリンスタンド、商店の有無、旧校舎の利活用 ②前回調査からの増減推移

3 令和3年度調査について

主な調査項目は以下のとおり。

個別集落の実態調査	市町村における集落支援等の状況調査
<ul style="list-style-type: none"> ○集落の人口と世帯数について ○集落の転入者の状況について ○郵便局について ○金融機関について ○薬局について ○ガソリンスタンドについて ○商店等について ○旧校舎の利活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域担当職員制度について ○「集落支援員」、「地域おこし協力隊」について ○農業従事者の農業従事期間外における居住状況について ○集落支援の実施状況について ○生活関連サービスへの要望等について ○集落における自主的な取組について ○今後の集落対策について

※ これまでの調査において、住民や世帯が存在しないもしくは、1戸のみであるにも関わらず集落として計上されている地域が散見されることから、本調査における「集落」の定義を徹底する。

4 調査結果の活用について

人口増等があった場合は要因分析を行い、今後の集落対策の参考とする。（過去研究会における委員意見）